

東京外国語大学国際日本研究センター
比較日本文化部門＋国際連携推進部門主催 ワークショップ
東京外国語大学 社会・国際貢献情報センター共催



「アイヌ民族とオーストラリア先住民 ——同化・差別と研究の現在」

2016年1月21日（木）18時～20時半
東京外国語大学本部管理棟中会議室

「先住民」について学び、知るということは、主流社会とは異なる視点を持つ人々について学び、共に考えることを意味する。2014年、札幌市議（当時）がアイヌ民族へのパッシングをTwitterで発言した。歴史的な認識は進んだとはいえ、人種差別的な移民政策と先住民政策のもとで、オーストラリア先住民は植民地主義的な（知）の構造に規定されてきた。このワークショップでは、アイヌ民族とオーストラリア先住民の研究者から、最新の研究報告を寄せていただく。それを通して、非西洋の鏡に映る私たちの姿を認識する手がかりとしていきたい。

関連図書：岡和田晃／マーク・ウィンチェスター編『アイヌ民族否定論に抗する』（河出書房新社2015年）
山内由理子編『オーストラリア先住民と日本 先住民学・交流・表象』（御茶の水書房2014年）

〈報告〉

岡和田晃（文芸評論家・共愛学園前橋国際大学非常勤講師）

「アイヌ民族否定論に抗う想像力
——新谷行、三好文夫から向井豊昭まで」

マーク・ウィンチェスター（神田外語大学教員）

「アイヌ民族否定の十年：
河野本道から金子快之に至る負の系譜」

山内由理子（本学総合国際学研究院教員）

「都市に暮らすオーストラリア先住民」